



いよいよ、今年も始まりました  
**ビブリオバトル和歌山大会**

県立図書館では、中高生の読書活動推進の一環として、「ビブリオバトル」を開催しています。ビブリオバトルとは、5分間で本を紹介する書評合戦です。和歌山大会では各地域大会・予選を通過したバトル（発表者）が決勝戦に進出。すでに続々と地域大会が開催されています。

バトル（発表者）による熱い戦いを観戦してみませんか？観戦は申込不要ですので、ご自由にご参加ください！

○紀北予選及び和歌山市予選

【日時】11月13日（日）13:00～

【場所】和歌山県立図書館 講義・研修室

○紀南予選

【日時】11月20日（日）13:00～

【場所】和歌山県立情報交流センターBig・U

○決勝戦（予選通過者が出場）

【日時】12月11日（日）12:40～16:00

【場所】和歌山県立図書館 メディア・アート・ホール



# あの人も和歌山へ ～ 平塚らいてう（雷鳥） ～

平塚らいてう(1886～1971年)は、大正から昭和時代にかけて活躍した社会運動家・評論家です。1911年に『青鞥<sup>せいとう</sup>』を創刊しました。創刊の辞である「元始<sup>げんし</sup>、女性は実に太陽であった」は有名で、大きな反響を呼びました。本名は、平塚 明(ひらつか はる)。

平塚家の先祖の話になりますが、らいてうによれば、平塚家の初代は「越中守<sup>ためかげ</sup> 為景」です。為景の兄である「因幡守<sup>ためひろ</sup> 為広」は、関ヶ原の戦いにおいて石田三成の西軍として最後まで陣頭に立ち、壮烈な死を遂げました。「為景」は徳川家康に捕らわれますが命は奪われず解放され、初代紀州藩主の徳川頼宣に召し出されます。その時に、兄の「因幡守<sup>ためひろ</sup> 為広」が残した3人の男の子を連れて紀州に入りました。この3人の遺児が紀州藩士となり、平塚らいてうに繋がっていきます。「為景」はその後、出家して名を「久賀<sup>きゅうが</sup>入道」とします。

和歌山市直川にある「本恵寺<sup>ほんけいじ</sup>」は、地元の人々から「直川の観音さん」と呼ばれています。直川観音は、「為景」により再建されていて、「為景」の墓碑があります。

昭和15年に平塚らいてう(当時54歳か)は、この直川観音を訪れて、「為景」の墓に参っています。らいてう曰く、「宿願の墓参りを果たすため」とあり、阪和線の六十谷駅を下車して直川観音に向かう途中において「道を教えてくれた老女の言葉が、亡き祖母の言葉にそっくりなので、とてもなつかしく、別れがたい気がして余計なことまでたずねたりしたものです」と記しています。

平塚らいてうの祖母も生涯において和歌山弁だったようです。らいてうの祖父「勘兵衛<sup>ためただ</sup> 為忠」も紀州藩士でありましたが、明治4年の廃藩置県により、翌年には和歌山から上京しています。らいてうの父親である「定二郎<sup>さだじろう</sup>」が14歳の時でした。

先祖を知れば、女性解放運動や平和運動に邁進した平塚らいてうの気骨ある生き方が理解できるように思えます。紀州和歌山の風土は、らいてうにとって懐かしく特別なものだったのではないのでしょうか。

## 【参考資料】

1. 『平塚らいてう著作集6』(大月書店／1984年)
2. 『作家の自伝8 平塚らいてう』(日本図書センター／1994年)
3. 『平塚らいてう』(小林登美枝／清水書院／2015年)



## 「レファレンス協同データベース」って、ご存じですか。

「レファレンス協同データベース」は、国立国会図書館が提供しているデータベースで、利用者からの資料相談等について、全国の各図書館が回答した内容を集約しています。国立国会図書館によれば、データ提供に参加している図書館は平成28年3月末現在で697館、一般公開されている回答データは約9万件です。調べものに役立つ資料などの情報を探す場合に活用できます。

インターネットで「レファレンス協同データベース」と入力すれば、すぐにトップ画面にたどり着きます。調べたい内容のキーワードを入力して検索すると、全国の図書館が調査した内容が一覧で表示されます。例えば、「紀州」と入力すると100件以上の調査事例が表示され、もう少し絞り込んで「紀州 参勤」と入力すると3件の調査内容が表示されました。(平成28年10月現在)

調べごとに限らず、関心のある事柄のキーワードを入力すれば、大変おもしろい質問と回答に出会う可能性があり、これもまた「レファレンス協同データベース」を楽しむ1つの方法です。

和歌山県立図書館が登録した回答事例も見ていただけます。トップ画面で「レファレンス事例」をクリックして、「提供館名」の項目欄に「和歌山県立図書館」と入力すれば、当館の回答事例が一覧で出てきます。ぜひ、ご覧ください。

図書館で言う「レファレンスサービス」とは、図書館資料等を使って利用者の方の調べ物をお手伝いすることで、全国の大半の図書館が共通して行っているサービスです。当館では閲覧室の「調査・相談カウンター」が窓口となります。

つまり、全国の図書館が取り組んでいる「レファレンスサービス」を反映しているのが「レファレンス協同データベース」と言えます。

## 和歌山県立図書館メールマガジン配信中！

平成16年2月からスタートした「メールマガジン」も、平成28年9月で通算200号となりました。現在、約600の方が登録されています。

原則、毎月1日に配信して、催しの案内や話題に応じたおすすめ図書の紹介など、最新情報をいち早くメールでお届けしています。巻頭における担当者のコメントもお見逃しなく。ぜひ、メールマガジンにご登録ください。

登録方法は、当館ホームページの「メールマガジン」をご覧ください。



## 「図書館の中の美術展」展示中

県立近代美術館の特別展「動き出す！絵画」で出陳する画集を中心とした図書を開覧室に展示しています。

田中恭吉やモネ・ゴッホ・ピカソなどの外国人画家の画集まで幅広い展示になっています。

読書の秋、芸術の秋、図書館と美術館で絵画の鑑賞をお楽しみください。

展示最終日：平成29年1月15日（日）  
展示場所：和歌山県立図書館 開覧室

## 第23回手づくり紙芝居コンクール 最終審査会・表彰式

今年も、当館恒例の紙芝居コンクールを開催します。

応募いただいた作品から、ジュニアの部と一般の部に区分して予備審査を行いました。その結果、各5点で計10点の紙芝居が最終審査会で実演する作品として選ばれました。

最終審査会では、制作者に紙芝居の実演をしてもらい、優秀賞が各1点、その他各賞が決定します。

コンクールのテーマ「ふるさと和歌山再発見」による和歌山を題材とした優秀な作品ぞろいとなりますので、皆さんふるってご観覧ください。

最終審査会・表彰式  
日時：平成28年11月6日（日）  
13：30～16：00  
場所：和歌山県立図書館 2階  
メディア・アート・ホール

## 中高生読書まつり POPコンクール

お気に入りの本をハガキサイズで絵と言葉を交えて紹介するPOP、今年も県内の中学生・高校生が力作を応募してくれました。

第1次審査の結果、中学生の部・高校生の部を総合して最優秀賞1点が決定します。その他、優秀賞が各部1点、奨励賞、佳作となります。

「中高生読書まつり」において受賞作品の紹介と表彰式を行います。

中高生読書まつり  
（ビブリオバトル和歌山大会決勝戦 表彰式／POPコンクール表彰式）  
日時：平成28年12月11日（日）  
12：40～16：00  
場所：和歌山県立図書館 2階  
メディア・アート・ホール

## がん患者・家族・県民のための公開講座 開催予告

がん患者さんやそのご家族に安らぎある“ひととき”を過ごしていただくため、今年も「がん」を体験した方をお迎えして、公開講座を開催します。

今回は、乳がんを体験され、『モデル、40歳。乳がん1年生。』の著者であるモデルの園田マイコさんにご講演いただきます。

参加申込の受付は、12月中旬に開始する予定で、ホームページでも案内しますので、ふるってご参加ください。

日時：平成29年1月29日（日）  
14：00～16：00  
場所：和歌山県立図書館 2階  
メディア・アート・ホール

和歌山県立図書館だより 第62号

（平成28年11月発行）

発行 和歌山県立図書館  
住所 〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号  
TEL(073)436-9500 FAX(073)436-9501  
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/>